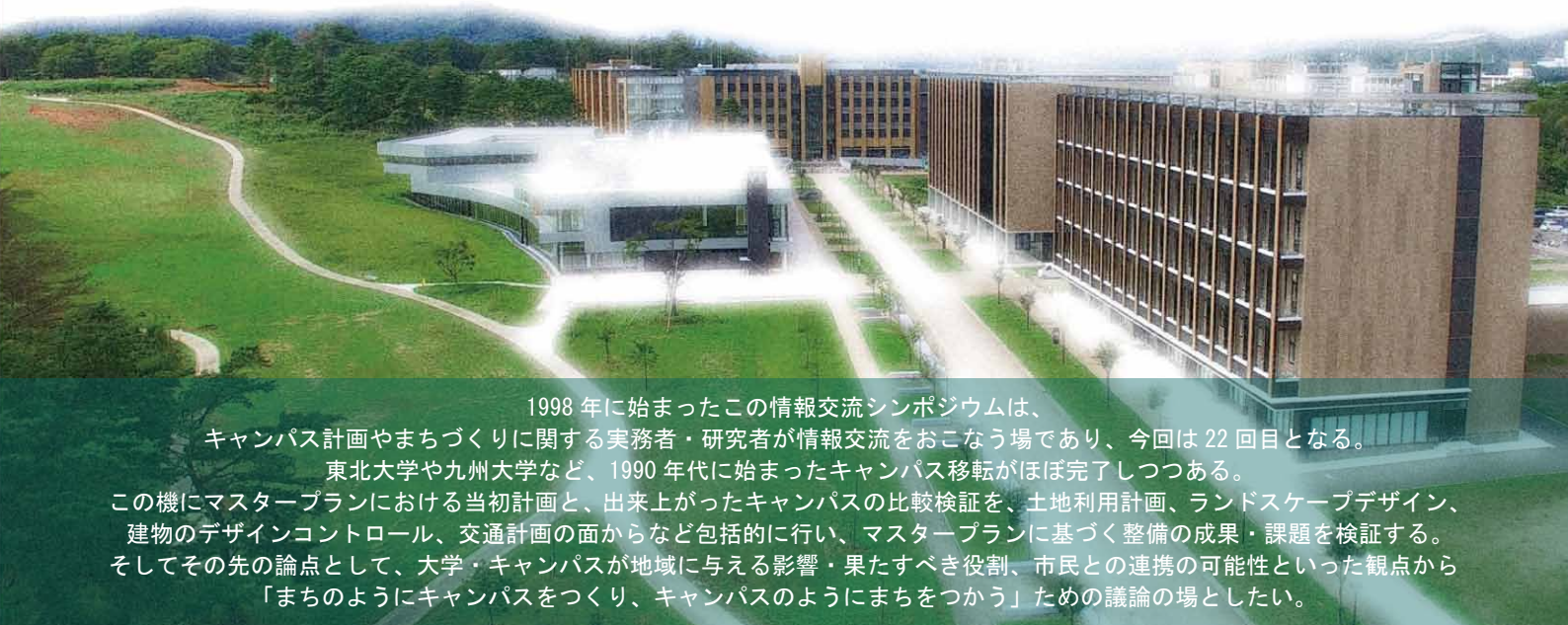


新キャンパスで実践されたデザイン ～マスタープランと実際、そしてその先へ～

主催：(一社)日本建築学会 都市計画委員会 企画戦略小委員会 キャンパス・地域再生ワーキンググループ
協力：東北大学 キャンパスデザイン室
サステナブルキャンパス推進協議会 (CAS-Net JAPAN)、一般社団法人 文教施設協会 (RIEF)
公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 (JFMA)



1998年に始まったこの情報交流シンポジウムは、
キャンパス計画やまちづくりに関する実務者・研究者が情報交流をおこなう場であり、今回は22回目となる。
東北大学や九州大学など、1990年代に始まったキャンパス移転がほぼ完了しつつある。
この機にマスタープランにおける当初計画と、出来上がったキャンパスの比較検証を、土地利用計画、ランドスケープデザイン、
建物のデザインコントロール、交通計画の面からなど包括的に行い、マスタープランに基づく整備の成果・課題を検証する。
そしてその先の論点として、大学・キャンパスが地域に与える影響・果たすべき役割、市民との連携の可能性といった観点から
「まちのようにキャンパスをつくり、キャンパスのようにまちをつかう」ための議論の場としたい。

2018 (平成30) 年 9月3日 (月曜日)

【第一部】 東北大学キャンパス見学会 (片平 → 青葉山)

- 10:45 ~ 受付 (1) (片平キャンパス 片平北門会館前ウッドデッキ、右図 A01)
- 11:00 ~ 11:45 (1) 片平キャンパス見学 (登録有形文化財を中心に。定員 30名)
- 11:45 ~ 移動・昼食
- 12:45 ~ 受付 (2) (青葉山コモンズ 2F 大ホールホワイエ、右下図 J41)
- 13:00 ~ 13:45 (2) 青葉山新キャンパス見学

【第二部】 シンポジウム 14:00~17:00 (受付開始 13:45 ~)

■会 場：東北大学 青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ 2階大ホール
(地下鉄東西線 青葉山駅 南1出口から徒歩約5分、右図 J41)

■参加費：会員 1,000円 会員外 1,500円 学生 500円 (定員：80名)

■プログラム：

○開会挨拶・主旨説明： 小篠 隆生
(北海道大学/キャンパス・地域再生ワーキンググループ主査)

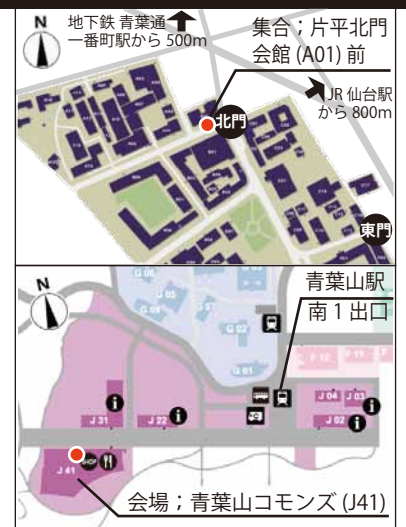
○講演 (仮題)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 東北大学の新しいキャンパスとまちづくり (事例報告) | 杉山 丞 (東北大学) |
| 2. 九州大学の新しいキャンパスとまちづくり (事例報告) | 坂井 猛 (九州大学) |
| 3. キャンパスは都市側からどうみえるか -ランドスケープの視点- | 池邊このみ (千葉大学) |
| 4. 大学・キャンパスとまちづくり -まちづくり NPOの視点- | 豊嶋 純一 (都市デザインワークス) |

○講演者によるパネルディスカッション モデレーター： 恒川 和久 (名古屋大学)

○まとめ： 安森 亮雄 (宇都宮大学)

○司会： 池内 祥見 (大阪大学)



【第三部】 意見交換会 18:00 ~、会費 4500円程度 (学割あり)、シンポジウム会場近傍としますが詳細未定です。

☆申込方法： ①事前受付 2018年8月24日(金曜日)までに氏名・勤務先・所属・同住所・同電話番号を明記し、
1) 見学会(片平・青葉山)、2) シンポジウム、3) 意見交換会、それぞれの参加/不参加を明記の上、
太幡英亮 (名古屋大学) tabata@cc.nagoya-u.ac.jp までお申し込みください。

②当日受付 定員になり次第、締め切ります。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。